

所在地

〒754-0897 山口市嘉川 666 -1
(いい花)
TEL : 083-988-1187



代表

杉山 宏

H P

<https://yama-f-market.com/>

●会社沿革

昭和35年 山口花き地方卸売市場を開設
平成 5年 旧小郡町から現在地に移転
令和 5年 「花市場Web販売システム」を始動



代表取締役の杉山宏氏

今月号では、株式会社山口県中央花市場の杉山宏代表取締役にお話を伺いました。

●県央部でも花の流通を、民間の花市場

山口県中央花市場は県央部から島根県を網羅する花専門の卸売市場として役割を担っています。約160社と取引があり、小売店、スーパー、ホームセンター、冠婚葬祭の事業者、インターネット販売をされる方などに花き[※]の卸売りをしています。

県内には下関・山口・周南と、花市場が3か所あるのですが、最初に開設されたのは県内で1番の花の産地となっている下関でした。後に、県央部でも主要産地からの販売ができるようにと山口地区にも市場が設けられました。多くの市場では農業協同組合や市が市場の開設者となって、卸売業者として各花市場が入っていますが、当市場は開設者も卸売業者も当社で、完全民営という違いがあります。

卸売市場は生産者の方に代わって販売する「受託販売」をして、一定の手数料を収入として頂くことが本来の仕事になります。しかし、生活様式の多様化や、生産者の高齢化により地元で生産されないお花が増えてくる一方で多種多様なお花が求められるようになるなど状況が変化しています。それに伴い、当市場に直接出荷されないものを他市場から買い付けて販売する「仕入販売」もするようになりました。

卸売市場なので、基本的には競りで商品を販売します。大手の市場では手元のボタンを押して入札する「機械競り」が主流ですが、当市場では指のサインで競り人と買受人がやり取りする「手競り」で実施しています。



競りの様子

※観賞の用に供される植物。具体的には、切り花、鉢もの、花木類、球根類、花壇用 苗ものなどのことをいう。

●消費拡大へ、お花に触れる機会を創出

お花の消費拡大を目指して、約15年前から山口市や近隣市を中心とした小中学校で、生産者・生花店・市場の三者でフラワーアレンジメント教室を実施しています。「花育(はないく)」としてお花を愛でる気持ちや喜びを味わってほしいと毎年取り組んでおり、通算で約6,000人以上に提供してきました。

独自でフラワーアレンジメント教室を実施されているところはあるようですが、お花を作る人と売る人、流通させる人が一緒にこのような機会をつくっているところは少ないと思います。最近では教育支援センターや母子生活支援施設にも輪を広げていて、参加者だけでなく主催者側も含めみんなが喜ぶことができるイベントとして、やりがいを感じます。

また約10年前からは「フラワーバレンタイン」を推進しています。世界的に見るとバレンタインデーには花を贈る習慣がある地域が多い中、日本ではチョコレートを贈ることが定番になっているので、「お花」も贈ってもらおうという取り組みです。当市場では前出の三者(出荷者・小売業者・市場)で、県庁や市役所の方に花束を購入してもらうキャンペーンを実施しています。

花束は事前注文を受けて地元のお花屋さんを用意してもらいます。当市場管内のお花屋さんには本当にレベルが高く、花の専門誌や書籍で全国から選ばれた店舗としてアレンジメントのサンプルが掲載されるお店がいくつもあるほどです。そのようなお店も含めた十数店舗の花束が一斉に並ぶので、通常では味わえない選ぶ楽しみができる機会になっています。

また「園芸福祉」や「園芸療法」の取り組みの一環として、フラワーバレンタインで得た収益の一部を基金とし、県内産の花苗の植栽セットを福祉施設等にプレゼントする事業も実施しています(花や緑に触れることで心のケアができたり、病気の症状が軽くなったりする効果が報告されています)。お花は「あった方が良いに越したことはないけれど」、優先順位が下がりがちなものですが、このような取り組みでお花に触れ合う機会を増やしていきたいと思っています。



色とりどりの花束が並ぶフラワーバレンタイン

●積極的な投資で出荷難民の問題に対応

花き業界では、高齢化や花離れの世相などにより、後継者不足による生産者の減少や出荷難民（商品をつくっても、地理的に出荷が難しい）という問題が起きています。また小売り分野においても、消費ニーズの変遷に伴い販売形態が細分化・多様化され、競りという市場本来の販売方法だけでは、満足いただける商品提供が非常に困難となってきました。

そこで、購入する機会をできるだけ等しく展開できる仕組みが必要だと考え、今年7月に「花市場 Web 販売システム」を稼働させました。現在は Web 販売の商品を切花中心に構成し、約 80 社に登録していただき運用しています。

大手の市場であれば、豊富な商品を提供できて魅力ある購入方法になるのですが、相応のコストが発生する中、商品力も懸念となり、規模が大きくない市場で独自に展開するのは厳しく、手が出にくいところでした。

しかし、他市場の多くには場内仲卸をする業者があり、市場はケース単位で販売し、小ロットで欲しい場合は仲卸業者を通して買ってもらうよう役割が分担されていますが、当市場には昔から場内仲卸がいませんので、当市場が仲卸的な役割も一部担わざるを得ませんでした。この経験を活かし、小ロット販売を Web 販売にも取り入れることで、大手市場の Web 販売に対しても差別化ができるサービスにすることができました。

さらに、当市場の「花市場 Web 販売システム」で特徴的なのが、値段を明記していない商品があるということです。9 割方は値段を明記しているのですが、例えば、通常とは変わった色の花が入荷するとなったとき、時価というような形で、値段を明記せずに Web 販売の品目に追加することがあります。Web 販売を導入している市場は他にもありますが、値段が明記されていないものがあるというのは他ではありませんでした。当市場では小ロットで販売可能ですし、買受人が値段はともかく「この色の花がほしい」と思ってもらえれば、生産者の希望価格で販売することができます。これまでの取引で築いた買受人との信頼関係があるからこそできることだと考えます。

また、山口県内で出荷しやすいような体制をつくらうと、昨年4月に柳井市と進出協定を結び、物流拠点（集出荷場）を開設しました。この施設を活用することで、県東部の生産者が県内全域の市場に出荷しやすくなるとともに、県東部の小売店が県内生産物をより仕入れしやすくなると思います。

さらに、新規顧客の開拓も目指して、パック花製造機を導入して自社で加工して卸売りをすることにも力を入れ始めています。パック花は、スーパーやホームセンターなどで多く販売されています。菊やカーネーションなど組み合わせたい花を製造機に置くと、茎の長さを揃えて下葉を切り、ゴム留めされ製品化できます。

労働力の確保が難しくなっている買受人が増えており、物日で注文が入っても人手不足で需要に対応できずチャンスロスになってしまいます。市場が加工生産力を持っていれば、チャンスロスを低減させられると考えました。また、花や緑を加工し、すぐに店頭で販売できる形にして卸売りをすることで、新たな卸売先の開拓に繋げていきたいと考えています。

また、ドライフラワー用乾燥機も導入したので、今後はドライフラワーのニーズにお応えするとともに、ドライフラワーに加工することで廃棄される花をできるだけ減らす仕組みづくりにも取り組んでいきたいと思っています。



パック花製造機

●花き業界の存続に危機意識、将来の消費者づくりに取り組む

私たち「花き業界」の大きな課題のひとつは、将来の消費者を作っていくことです。そこで大切になってくるのが花の消費拡大に向けた取り組みや花育だと考えます。

フラワーバレンタインはまだ一般的には広がっていません。ぜひ家に花を持って帰るといった体験をしていただきたいので、興味を持ってくださる方がいらっしゃれば、数量に関わらずご注文をいただくことで、この活動を広げていきたいと思っています。

また、映像やゲームの世界でお花を見たことがあっても、実際に触ったことは全くないというお子さんもいらっしゃるかと思います。フラワーアレンジメント教室をすると、どんな子も楽しそうにつくってくれるので、花育活動も引き続き注力して参ります。

生産者の高齢化問題への対処も必要です。季節にもよりますが、当市場を流通する県産花きのシェアは、切花が2割、鉢物や苗物が3割程度に減っています。山口県の花き生産者の平均年齢は72歳と高齢化が進んでおり、流通量の低下の一因となっています。後継者不足も問題で、新規生産者の参入が喫緊の課題となっています。「お花や緑」が売れる環境を作ることで、安心して生産していただける仕組みづくりを構築しなくてはなりません。

私たち花き業界は、「このままでは花の生産が極度に減少し、国内にお花がないという事態が発生するのでは…」という危機意識を持っています。これをどのように消費者の皆さんにお伝えしていくかということも私たちの仕事になると思います。どうか皆さんも少しでも危機意識を共有していただき、花き業界を支えて頂けたらと思います。

生産者が「また作ろう」と思ってもらえる環境は市場や小売店だけでは作れません。「お花があるって良いね」「お花や緑がないと困るね」という普遍的な価値観が広がっていき、「お花を買って帰ってみようかな」と思ってもらえる方が増えてくことを切に願っています。



フラワーハウスジョイ (山口グランドホテル) 提供